



小林工業株式会社 会社案内

Company Guide

ごあいさつ

【経営方針】

グローバルゼーションの中で生きる。
"KOBAYASHIブランド"を確立させる。

当社は創業以来、社是として「創意工夫」「人の和」「堅実」を掲げ
お客様に満足いただける、品質の向上と技術の蓄積に努めてまいりました。

海外工場展開も20年以上の実績になり、現在タイとインドネシアに拠点を構え
日本本社とスクラムを組み、“One Team”の活動展開をしています。

関連会社のシステム事業も社内に取り込み、組み込みソフトウェアの技術を柱に
部品事業との協働で商品開発にもチャレンジしてきました。

これからも新たな事業開拓に積極的に取り組んでまいります。

令和 6年 4月
代表取締役 社長

小林信弘

中期経営方針

グローバルゼーションの中で“生きる”
KOBAYASHIブランドの確立を目指して

中期経営方針

従来の活動手法を刷新し、海外拠点とともに
営業改革、体質改善、開発力強化の
三つの改革を通して
国内・海外ともに収益力を強化する。

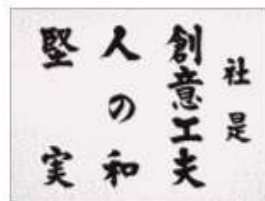
改革活動指針

1. 営業改革
新規案件、新規顧客を開拓し、海外拠点を含めた
連結営業を展開する
2. 体質改革
不良発生源対策活動、新たな5S活動、スキルアップ
活動を通じて、高い生産性・品質を生みだせる組織を
作り、製造原価を低減する。
3. 開発力強化
新技術を獲得し、生産の質を向上すると共に、
次の中期に向けた受注活動につなげる。

会社概要

社 是

- 創意工夫 未知のものを吸収する柔軟な思考と、失敗をおそれずにトライする勇氣。
- 人の和 社員ひとりひとりのやる気と、協力体制を育む環境の整備。
- 堅 実 自覚を基盤にした責任により、「堅実」な仕事と高い品質を誕生させる。



企業概要

社 名	小林工業株式会社
代 表 者	小林 信弘
資 本 金	1,000万円
事 業 内 容	・二輪・四輪自動車部品等の製造 ・車載向けECUソフトウェア・システム の開発
従 業 員 数	74名（日本国内）
年 商	30億円(グループ売上 2023年度)
主 要 取 引 先	ヤマハ発動機株式会社 ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社 Yamaha Motor Manufacturing Corporation of America ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社 ヤマハモーター精密部品製造株式会社 株式会社 遠州 サクラ工業株式会社 城北機業株式会社 株式会社 ネオ 三遠機材株式会社 株式会社 小楠金属工業所 (敬称略)
関 連 会 社	コバヤシオートパーツタイランド コバヤシオートパーツインドネシア 株式会社 エンテック
取 引 先 銀 行	みずほ銀行 静岡銀行 浜松磐田信用金庫 日本政策金融公庫 三井住友銀行

所在地

■ 寺脇工場	住 所	静岡県浜松市中央区寺脇町722		
	TEL/FAX	TEL/053-441-2871	FAX/053-441-9435	
	敷 地/建	物敷地/6,429平方米	建物/5,105平方米	

■ 磐田工場	住 所	静岡県磐田市飛平松字新田213-1		
	敷 地/建	物敷地/3,852平方米	建物/2,815平方米	

企業沿革

1959年5月	浜松市中島町に(株)小林製作所を設立
1959年6月	浜松市相生町に小林精機製作所を設立
1961年8月	浜松市竜禅寺町に工場を建設し、両社を移転
1965年9月	浜松市寺脇町に工場を建設
1966年9月	「小林製作所」「小林精機製作所」の両社を統合し、現在社名の小林工業(株)を設立 素材の加工から組立完成品までの一貫生産体制を整備
1982年11月	寺脇工場を増設 コンピューターの導入により、生産管理システムを独自開発
1985年3月	株式会社エンテック を設立
1989年	プレス金型用ダイハイト調整機「DA-100M」「DA-800M」を開発 各工場間のオンライン化により、トータル生産管理システムを確立
1993年3月	竜禅寺新工場建設
1995年4月	磐田郡竜洋町(現在の磐田市)に工場を建設
1996年10月	タイに現地法人、コバヤシ・オートパーツ・タイランド設立
2001年8月	コバヤシ・オートパーツ・タイランド新工場を建設
2004年3月	インドネシアに現地法人 PT.コバヤシ・オートパーツ・インドネシア設立
2004年4月	第2事業部を分離。株式会社ケー・アイ・エスを設立
2007年12月	磐田工場拡張
2013年1月	コバヤシ・オートパーツ・タイランド 第2工場 着工
2015年12月	磐田工場にて太陽光発電設備稼働開始
2022年1月	寺脇工場にて自己消費型太陽光発電設備稼働開始

■ 創業第1号設備(MN-130型 万能精密歯切盤)

昭和42年1月 当時浜松地域においてはミクロン歯切盤導入の先駆けとなる(NM-130型 万能精密歯切盤 通称ミクロン)を初代社長・小林省二が東京に出向き購入。転造機等の開発がなかった当時、オートバイのプレーキカムシャフト及びオルゴール部品の小歯車などが本機にて加工されていました。



ISO(環境/品質)統合方針

ISO14001/ISO9001

私たちは2001年2月 環境マネジメントシステムISO14001、2003年2月 品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得いたしました。

行動方針

当社に係るオートバイ、楽器産業が育った浜松は、天竜川、遠州灘の豊かな自然環境に恵まれた地域でもあります。この恵まれた自然の中で金属部品加工を「創意工夫」、「人の和」、「堅実」を社是として事業展開してまいりました。

そして今、地球温暖化現象など様々な環境悪化が叫ばれる中、当社は環境と人と事業活動の和を目指して、「自然を守る技術と工夫、未来に残す青い空」をスローガンとして環境マネジメント活動を展開すると共に、KOBAYASHI ブランドの確立に向け、社是の精神のもと、安全性、信頼性を確保した高品質な製品提供による、顧客の満足への貢献と会社の発展を目指します。

1 統合マネジメントシステムの構築

部品加工、製造に係る環境への影響を認識し、経済性を最大限考慮し、可能な範囲で最良の技術の採用に配慮して、環境汚染の予防をすると共に、全社員が自分の役割を通して統合(環境/品質)マネジメントシステムを確立し継続的改善を図る。

2 法律ならびにその他要求事項の遵守

環境/品質に関する法規法令、規制、及び当社が同意したその他の要求事項を遵守すると共に、その維持管理を図る。

3-1 日常業務における環境負荷の低減

事業活動及び加工品が与える環境影響の中で、次の項目を重点的に環境保全・環境改善活動を行い、定期的に見直しを図る。

- 1 地球温暖化の防止のため省エネ(電気・燃料 等)の推進
- 2 廃棄物(廃油 等)の削減とリサイクル化の推進
- 3 技術的、経済的に可能な限り省資源化(鋼材 等)を迫及する。
- 4 有益な側面につながる活動の推進(不良品の削減 等)

3-2 品質目標の達成

統合(環境/品質)方針に基づき、事業部目標、グループ目標を設定し、目標達成に向けて次の事項について具体的計画を立て、方針展開を実施する。

- 1 重要クレーム「ゼロ」の達成
- 2 全社ロスコスト・不良率(PPM)の低減
- 3 主要顧客品質目標の達成

4 環境/品質改善意識の向上

社員全員、日常生活が環境に与える負荷について正しく認識し、常に環境保全・環境/品質改善に留意して行動できるよう、全員が学習し、理解を深めるように努める。

5 状況認識と継続的改善

統合(環境/品質)方針、環境/品質目標の適切性を持続するため、社会環境・顧客ニーズの変化等を捉え必要に応じて、品質保証会議、内部監査、マネジメントレビューを通じ見直しを実施する。

6 地域との共生

周辺美化運動の地域環境保全活動に積極的に取り組み、地域とのコミュニケーションを大切に共生を図る。

小林工業株式会社
代表取締役 社長
小林信弘

モーターサイクル部品

モーターサイクルに使われる各種部品を製造しています。

エンジン部品では高精度かつ微妙なフィーリングを要求されるシフト機構
ASSY部品。ボディ部品ではエンジン振動を吸収するブラケットエンジン
ASSY、重要保安部品である シャフトブレーキASSY。
フレーム部品ではフレームの支柱となるブラケットリヤアームなどを生産
しています。



Line Up

			
ブラケット リヤ アーム	ホルダーハンドル	フロントハブAssy	エンジンブラケットAssy
			
ブラケット 3	アクスルプッシュレバー	プッシュレバーAssy	ステアエンジン 3
			
ステアエンジン 4	ガイド	レバー	シャフトブレーキ
			
エンジンブラケットサブ	ブラケット	シフトシャフト	

バギー部品

ステアリング機構部品であり、重要保安部品であるコラムステアリング、ピットマンアーム、ブラケットストッパーステアリング、ナックルステアリングをはじめ、重要な足廻り部品である カラーホイール、フロントアーム、リヤアーム、フートレストなどを生産しています。



Line Up

			
コラムステアリング	アームピットマン	ブラケットストッパーステアリング	フートレスト
			
ディスクブレーキ	カラーホイール	アームリレー	レバーストッパ
			
ナックル	ブラケットリヤアーム	ロッドコネクティング	アームフロントアップパー
			
アームフロントロワ	アームリアアップパー	アームリアロワ	



スノーモービル部品 スノーモービルにも小林工業の製品が使われています。

過酷な条件下でスキーを支持する重要保安部品のコラムスキー。
サスペンションストロークをコントロールするピボットアームCOMP。
リバース機構を操作するシフトレバーASSYなど 重要な機能部品を
生産しています。



Line Up

			
シフトレバー	アーム アウトサイド	コラムスキー	ロッドコントロール
			
ブラケット	ピボット	ノブレバー	レバー
			
ロッドコントロール	シャフト	アームフロントアップパー	アームフロントロワ
			
ピボットアームComp	アームピボットAssy	アームピボットAssy. 2	

ゴルフカー部品

ゴルフカーに使用される小林工業の製品たち

アクスルシャフト、ハブ、フロントアームなど重要な足廻り部品。
ロッドステアリング、コラムステアリングCOMPなどのステアリング機構部品。
エンジンを固定支持するブラケットエンジンなどを生産しています。



Line Up



シャフト リヤ アクスル



ディスクブレーキ



ハブ



ハブリア



ブラケットサブAssy



アームコントロール



アームフロントリア



ステアリング



ブラケットエンジン



ロッドステアリング

M J ・ 船外機部品

M J ・ 船外機に使われる小林工業の製品

耐久性、耐蝕性を問われるマリンジェット、船外機の部品では
各種ステンレス製のプレス部品を主体に生産しています。



Line Up



その他部品

その他、様々な場所に使用される小林工業の部品

自動車用クラッチ部品、電動アシスト自転車用のスプロケット、
電子楽器エレキのフレームなども生産しております。

Line Up



主要設備

積極的に新型マシンを導入。
独自の技術と生産性を
力強くサポートします。

切削、研磨、歯切、ブローチ、プレス、溶接 等の幅広い
設備ラインナップは 素材からの一貫加工を実現し高精度な
複合加工部品の生産を可能にしています。
又、充実した計測装置、試験設備は高レベルな品質を
バックアップしております。

切削・研削



名 称	能 力	台 数
NC旋盤	8吋・6吋	7
マシニングセンタ	BT40	2
タッピングセンタ	BT30	2
ターニングセンター	～φ35	3
歯切盤		5
転造盤	15t・16t	2
普通旋盤	8吋・6吋	2
縦型フライス		2
NC操作フライス		2
ブローチ盤	ストローク800mm	2
ボール盤各種		14
高速切断機		1
センターレス研磨機		3
円筒研磨機		4
平面研磨機		2
コンターマシン		2

プレス



名 称	能 力	台 数
クランクプレス	500t	2
	300t	2
	200t	2
	200t順送(サーボプレス)	1
	150t	4
	150tワイド	1
	110t	1
	80t	1
油圧プレス	45t	1
	35t	1
	10t	2
	1t	1
プレスブレーキ	80t	1
シャーリング	1200mm	1
リベッティングマシン	0.7 ～ 1.5t	7

溶接



名 称	能 力	台 数
半自動溶接装置	分割溶接・円周	6
ロボット溶接装置	シンクロモーション	11
手動溶接機	CO ₂ アルゴンガス	4
アーク溶接機		1
Tig溶接機		1
プラズマ切断機		1

その他設備



名 称	能 力	台 数
ワイヤー放電加工機	$\alpha-1iA \cdot \alpha-0iB$	2
放電ボール盤	JEM-350	1
3次元測定器	Crysta-ApexC	1
強度試験機	20t	1
硬度試験機	ロックウェル	1
表面粗さ形状測定器	FAT-S4D3000-D	1
CNC画像測定器	QV Apex 404	1
膜厚計		1
投影機		1
温風式乾燥炉		1
洗浄機		1
天井走行クレーン	1t～2.8t	6
生産管理システム用端末		26
3D-CAD		2

小林工業株式会社【寺脇工場】

二輪・四輪自動車部品 等の製造/車載向けECUソフト開発等

所在

住所 〒430-0841 静岡県浜松市中央区寺脇町722

TEL 053-441-2871

FAX 053-441-9435

【アクセス】

バス 浜松駅北口バスターミナル6番のりば
・3番系統「向宿・大柳行き」乗車
「鉄工組合」下車徒歩3分
・5番系統「三島・江之島・遠州浜」乗車
「鉄工団地南」下車 徒歩5分

タクシー 浜松駅南口タクシー乗り場より約10分

自動車 浜松ICより約20分



地図



小林工業株式会社【磐田工場】

二輪・四輪自動車部品 等の製造

所在

住所 〒438-0216 静岡県磐田市飛平松字新田213-1

TEL 0538-66-3004

FAX 0538-66-3314

【アクセス】

自動車 浜松ICより約30分



地図



株式会社 エンテック

車載向けECUソフト開発等

所在

本社 住所 〒432-8002 静岡県浜松市中央区富塚町348-13

総務 住所 〒430-0841 静岡県浜松市中央区寺脇町722

TEL 053-441-2871

FAX 053-441-9435

ホームページ <http://entech.co.jp/>



地図



KOBAYASHI AUTOPARTS (THAILAND) LTD.

二輪車用SHIFT SHAFT ASSYおよび
各種エンジン部品の製造販売

所在

住所 141 Moo 17, Bangplee New Town Industrial
Estate Soi 3, Taypharak Rd., Bangsaotong,
Samutprakarn 10570
Thailand

TEL +66-(0)2-705-6827-29

FAX +66-(0)2-315-1496

ホームページ <http://www.kobayashi-ind.co.jp/kat/>



PT.KOBAYASHI AUTOPARTS INDONESIA

二輪車用SHIFT SHAFT ASSYおよび
各種エンジン部品の製造販売

所在

住所 JL.Jababeka XII Blok W No.8 Kawasan
Industri Cikarang Bekasi 17530
Indonesia

TEL +62-(0)21-898-35152

FAX +62-(0)21-898-35051

